

## 2 学校におけるキャリア教育

### ポイント

- ① キャリア教育の推進体制の改善・充実
- ② キャリア教育全体をマネジメント

### 手順及び留意点

- ① キャリア教育の推進体制を改善・充実しましょう。

#### 留意点

学校の教育活動全体を通してキャリア教育を推進するためには、キャリア教育の意義を十分に認識し、キャリア教育を学校経営計画の中核に据えることが必要です。

各学校においては、校内の関係する分掌や各学年の代表者等を構成員とした委員会等、全校的な組織を設けるなど、組織的、系統的にキャリア教育を推進する体制の改善・充実が必要です。このことにより、学校が一体となってキャリア教育の推進を目指すことにつながります。

- ② キャリア教育全体のマネジメントを行いましょう。

#### 留意点

学校が一体となってキャリア教育を推進するに当たっては、校長のリーダーシップの下、学校教育目標や教育方針等、学校経営方針にキャリア教育を明確に位置付けることが大切です。

たとえば、「キャリア教育推進委員会」等の委員会を組織し、委員会が中心となって、学校教育目標を十分に踏まえて推進していくことが重要です。この委員会は、管理職を中心として、各部・各学年の代表者により組織し、年間指導計画の作成や職員研修の企画立案、

各分掌（小・中学校例：教務主任，研究主任，総合的な学習の時間コーディネーター，生徒指導主事，進路指導主事，各学年主任，高等学校例：教務部，生徒指導部，学年，進路指導部，総務部）の役割分担の提示などを行います。

児童生徒と直接かかわるのは学年会・担任ですが，委員会はキャリア教育を円滑に展開できるよう，様々な機会をとらえて，効果的な支援を行う組織として機能することが重要です。

このようにして，すべての教員がキャリア教育の方針や内容を十分理解し，情報交換を密にして，各分掌間の意思疎通を図っていくことが必要です。